

# 水ときらめき紀の川館に 団体の来館者がありました

流水調整課 H27.11.26



紀の川大堰の水ときらめき紀の川館に、京都府宇治市の淀川木津川水防事務組合の皆様が見学に来られ、当事務所から流水調整課の2名が対応しました。

あいにくの曇り空。今にも雨が降り出しそうな気温もぐっと下がった一日でしたが、無事すべての見学箇所をご案内させていただくことができました。

皆さまからは、紀の川大堰の必要性や役割についてよく理解できたと喜んでいただきました。

## 団体見学概要

日時:平成27年11月25日(水) 10:00 ~ 11:10

会場:水ときらめき紀の川館

参加人数:24名

団体名:淀川木津川水防事務組合

### 1.紀の川大堰概要説明

紀の川の概要、川になるまで、紀の川の歴史、紀の川大堰の役割、紀の川大堰における環境保全対策について

スライドを用いて職員が説明



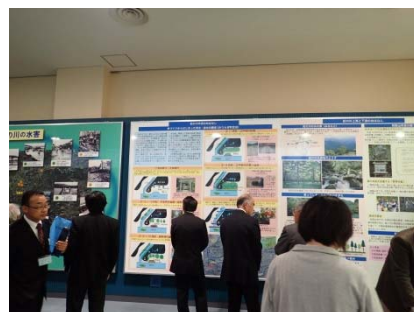
## 2.館内の見学

一部展示されている巨大流木の説明を読まれています



1階航空写真で和歌山の名所を探す

紀の川の水はどのように利用されているのか、パネルを見る方たち



2階操作室をガラス越しに見学。

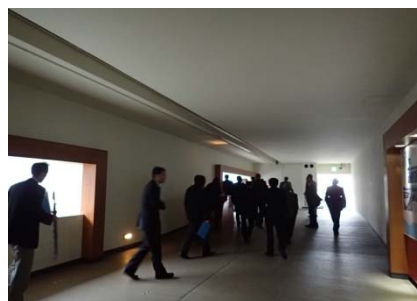
職員が勤務やダム操作の説明をする

R階展望デッキにて、量水塔などを目で確認

階段式魚道、デニール付バーチカルスロット式魚道、人口河川式魚道を上から見てみる



## 3.館外の魚道見学



魚道観察室の見学

### 質問

Q1.新六箇井堰というのはどの辺りにあるの？

A1.紀の川大堰から約600m上流にありました。現在はすでに取り壊されています。

Q2.(展望デッキにて)どの辺りまで海水なんですか？

A2.紀の川大堰を境に、下流側は海水と真水が混ざった汽水域です。

